

ここ数年、75歳以上の高齢者が過失割合の高い「第1当事者」となる死亡事故が増加しています。事故の原因は「安全不確認」が最も多く、「ハンドルやブレーキ操作が不適切」「アクセルとブレーキの踏み間違え」も多くな

高齢ドライバーの事故に注意

つています。高齢ドライバーの重大事故は、認知症が関係していると思われがちですが、「認知機能低下のおそれなし」と検査結果が出ている人も多くいます。

「慌て」「焦り」による運転操作ミスから事故に至るケースが見られます。運転技能検査は、3年以内に、信号無視や逆走、速度超過など11類型の違反をした人が対象となつていま

す。

ペダル踏み間違え急発進抑制装

置等の取り付けはもちろん、慎重な運転に心がけ、家族や周りの人の意見に耳を傾け、不安を感じたら、免許の返納を検討しましょう。

交通安全30メモ